



# ひばりっ子

学校教育目標・・・自ら学び、心豊かに生き生きと活動する児童の育成

## 1学期を振り返って

1・2・3年生の子供たちが下校して間もなく、突然、大雨が降った日、慌てて車で子供たちを追いかけました。案の定、歩道の途中で動かなくなっている子供たちを発見しました。「大丈夫？」と声をかけると、「今ね、みんなにカッパを着せていたところ」と、1・2年生一人一人にカッパを着せている3年生の頼もしい返事が返ってきました。まだ3年生になったばかりなのに、ひばりっ子の優しく下級生を見守るという意識は、しっかり受け継がれていることに感動した瞬間でした。

さて、ひばり野小学校の伝統行事「七夕パレード」を終え、ホッとしたかと思うと、もう1学期が終わりを迎えます。子供たちは、この1学期、一人一人が自分の目標をもってチャレンジしてきました。朝、校門では、「町体で自己新記録が出たよ」「歴史の人物をたくさん覚えたよ」「プールで顔が水につけられたよ」など、うれしい言葉がたくさん聞かれました。学校では、1学期のまとめとして、子供たちが自分の成長を実感したり、新しい課題を見付けたりできる振り返りをしていきたいと思えます。

もうすぐ長い夏休みが始まります。夏休みも自分の目当てをしっかりともち、どのように行動すればよいのか自分でしっかりと考えて、安全に夏休みだからこそできる体験をたくさんしてきてほしいと願っています。



## 短冊に願いを込めて ー七夕飾り作り（6月30日）・短冊飾り付け（7月5日）ー

今年も、5・6年生が事前に準備をし、縦割り班ごとに力を合わせて七夕飾りを作りました。当日は、1年生から6年生まで、一人一人が役割をもって集中して飾り作りに取り組みました。作業の途中で、上級生が下級生にやり方を教えたり、難しいところを手伝ったりするなど、助け合う姿がたくさん見られました。また、竹に短冊を付ける時も、ペア学年で行い、どこに付けたいかを聞いたり、飛ばされないように頑丈に結んであげたりする微笑ましい姿がたくさん見られました。みんなの願い事がかないますように！



## 地域を盛り上げるひばりっ子ー七夕まつり鼓笛隊パレード（7月7日）ー



今年は、快晴の中でのパレードでした。暑過ぎて体調を崩す子供がいるのではないかと心配しましたが、子供たちは、最後まで、練習通りの見事な演奏をやり遂げました。この行事を通して、地域の伝統を受け継ぐとともに、身も心もたくましく成長する子供たちです。沿道での地域や保護者の皆様の応援が、子供たちの大きなパワーになりました。本当にありがとうございました。

また、パレードに先駆けて行った寿楽苑での演奏の最後に、入所者の方と握手タイムを行いました。涙を流して喜んでくださる姿に、子供たちが感動し、自分たちが役に立っていることを実感できた様子でした。

鼓笛用小太鼓・中太鼓  
をいただきました



今年度も、赤い羽根共同募金から助成をいただき、鼓笛用小太鼓と中太鼓を購入しました。早速、今年の七夕パレードで使わせていただきました。ありがとうございました。

## 平成 29 年度通学路合同点検 第 1 回 学校評議員会

5月30日（火）に、通学路合同点検及び第1回学校評議員会を開催しました。その際、話し合われたことの概略をお知らせします。

### —通学路合同点検—

横断歩道や電柱の車避表示板の設置、路側帯の白線引き直し、用水の転落防止網等、多数のご意見をいただきました。早速、役場や警察署等へ申請書を提出して下さったおかげで、すでに車避表示板や用水の転落防止網は設置していただきました。ありがとうございました。

### —学校評議員会—

平成29年度入善町教育委員会から委嘱されたひばり野小学校学校評議員は次の方々です。

平澤 優 様 (舟見地区区長会長)

長原 良夫 様 (西中地区区長)

森 秀樹 様 (舟見公民館長)

金森 進 様 (野中公民館長)

酒井寿々代 様 (学童保育指導員代表)

よろしく願います!



「学校運営について」、「アクションプランについて」（学校だより「ひばりっ子」第1号参照）、評議員の皆様から貴重なご意見をいただきました。下記は抜粋です。

- アクションプラン2（家庭学習）とアクションプラン3（睡眠時間の確保）は相反しているのではないかと。学習もするし、早く寝るとするのは難しいと思う。特に高学年は大変だと思う。
- 時間の管理は、難しいと思う。自分も小さいときはできなかった。自己管理ができる子供に育てほしい。
- 自分で目標を決めると意欲が高まるので、目標を立てて取り組むのはよいと思う。

## 自分の命は自分で守る —着衣泳練習（7月14日）—



消防署の方々を講師に招いて、万一の水の事故に備えて着衣泳練習を行いました。

子供たちは、服を着たまま水に入るととても動きにくいことや浮くことが難しいこと、万が一川等に落ちてしまったら「浮いて待つ」ということを体験しながら学びました。

何が危険で、どうすれば助かるのかを知るとともに、危険を回避するために、自分の行動を改めて見直し、安全に過ごしてほしいと思います。